

教室×家庭で育むお子さまの成長ストーリー [エピソード]

Episode

learning, living and you

言葉 親子関係
気持ちのコントロール

子どもと家族の 成長物語

STORY #01

息子のちいさな「できた」が私たちの幸せ

STORY #02

1ヶ月で大きく前進 1年半で大成長

STORY #03

親子の関係性を根本から見直す機会に

対談インタビュー

短期間で
お子さまが成長する
理由とは？

創刊号

2023.10



STORY #01

息子の ちいさな「できた」が 私たちの幸せ

{ テーマ 言葉 }

発語がなく、目が合わない1歳半のEくんを見て、発達に違和感を覚えたというお母さま。コミュニケーションを促したくても、方法が分からず途方に暮れていたそうです。教室利用を開始して、Eくんとご家族にどのような変化があったのか伺いました。

INDEX

P2-5

テーマ 言葉

STORY #01

息子のちいさな「できた」が私たちの幸せ

P6-9

テーマ 痲癩

STORY #02

1ヶ月で大きく前進
1年半で大成長

P10-11

テーマ 親子

STORY #03

親子の関係性を
根本から見直す機会に

P12-13

マンガで読む
通塾事例

P14-17

対談インタビュー
短期間でお子さまが
成長する理由とは？

1歳半健診。問診票に1つも〇がつけられない

言葉もなく、目も合わない
息子を前に不安の日々

息子は1歳半を過ぎてても、言葉を発することなく、目も合わせることができませんでした。目前に控えた1歳半健診の問診表を見て、1つも〇をつけられず不安に襲われたことを今でも覚えています。

その当時の私は、コミュニケーションを促そうにも、その方法が分かりませんでした。不安な気持ちを抱えたまま支援を受けられる場所を探しましたが公的機関は診察が6ヶ月待ち、利用は3歳からと言われてしまいました。半年や1年という期間は、子どもの成長にとってかけがえのない大切な時間です。「今すぐ何とかしてあげたい」という思いに駆られて、必死に通える施設を探しました。こちらに出会ったのはそんな時期でした。



先生と一緒に、ちいさな
「できた」を積み重ねて

息子の状況を先生方はしっかりと理解してくださいました。

当初立てていただいた目標は、目線を合わせることに、発語を増やすこと、要求を伝えることなど、「言葉」を重視したものでした。

その他にも、呼ばれたら振り返ることや、遊び方を広げることなど、「コミュニケーションをとる上で大事な点を目標に授業を受けました。

そうした目標が達成できると、見通しを持って指示を聞いて行動することや、単語を用いた言葉での要求ができるようにすることなど、息子の成長に合わせて目標の内容も変化していきました。

息子のありのままの姿を受け入れられるように

「ぼく、できたよ!」の
笑顔がなにより嬉しい

利用を開始してから、教室で取り組んでいることを、家でもできるようにになりました。コツは先生が教えてくださるので、実践がしやすかったですね。

例えば、「目線を合わせる」ことができるようになるために、教室でやっていたように目を合わせられたら息子のほしいおもちゃを渡すようにしました。その際、言葉も覚えられるように「これは『パンダ』だよ」など、渡すものの名前も伝えるようにして。

教室で先生に教わったコツを実践していくうちに、自然と「どんな声掛けをしたら息子にとっていい刺激になるか」私自身が自発的に息子との関わり方を考えていけるようになっていきました。

教室で見通しや切り替えなどの次の目標に移行した頃には、家でも同じような課題に向き合うように心がけました。

お風呂での洗髪が苦手よく逃げられていたのですが、今では「10数える間だけ頭を洗うよ」と伝えてから洗うことで10秒間は頑張って逃げずに洗わせてくれるようになりました。

以前は、息子とどう接したらいいかわからないことが多かったのですが、今ではたくさんアイデアが浮かんできてそれを実践するのが楽しい。

息子の「ぼく、できたよ!」っという笑顔がなによりうれしいんです。





先生がいなかったらきつかったと思います

夫婦そろって思うことは、先生がいなかったら本当にきつかったということ。子育ての壁にぶつかっても、「先生に次回聞けばいいんだ」と思えたおかげで子育ての不安が払しょくされました。そして何より、ここで先生や友だちに恵まれたことが一番大きな財産です。「息子は息子でいいんだ」とありのままの息子を受け入れられるようになりました。

息子の一つひとつの小さな成長を心から喜べるようになったんです。そのおかげで、息子の発達に対して前向きになれ、迷惑をかけちゃうんじゃないかと心配になって家に閉じこもるのではなく、思い切って外出もできるようになりました。こんな風に思えるようになったのは、ここで私自身も、ちいさな「できた」を積み重ねていけたからだと思っています。

指導員からのコメント

利用当初のEくんは、目を合わせる事が難しかったりひとり遊びが多かったのですが、ご卒業時にはお歌と一緒に歌ったりごっこ遊びをすることができるようになりました。Eくんが頑張ってくれたことはもちろんですが、ご家族がペアレントトレーニングで学んだ関わりの工夫をご自宅で実践してくださったことも大きかったと思います。私たちとご家族がチームになってサポートすることで、お子さまがここに楽しみながら成長していけるとうれいします！

これからもEくんのペースで一步一步進んでいきますように。



LITALICOジュニア
町田教室

指導員より

STORY #02

1ヶ月で大きく前進 1年半で大成長

小学校2年生のときに利用を開始したTさんご家族。
当初、痲癩を抑えられず30分間も泣きわめぎ続けていたAくんは、
この1年半で大きく成長しました。ご家族に今日までの道のりを伺いました。

{ テーマ }
痲癩





「ブランコ」のりたい」 利用1ヶ月でおうむ返し を脱した

学校では教室から飛び出して
行ってしまう息子でしたが、数
回通う内に落ちていて座ってい
られる時間が目に見えて長く
なっていました。さらに、自
分の気持ちを言葉で伝える姿も
見られるように……。

先生は、思い通りにならない
ときに相手にどう伝えたらいい
のか実践する場面を、1回の授
業の中で何度も何度もつくって
くださいました。



そうした経験を重ねていくこと
で、息子は落ち着いて「やりた
い」とか「やめて」と言えるよ
うになっていったんです。その
成長は、教室の中だけにとどま
りませんでした。通い始めて
1ヶ月ほどたった頃のことです。

いつものように息子と公園に
行くと、生まれて初めて「ブラ
ンコ、のりたい」と息子が自分
の言葉で思いを伝えたのです。
驚きで、一瞬身体が止まりました。
「え、息子は今なんて言った
の?」

それまでは自らの気持ちを言
葉にしない息子とは「ブランコ
のる?」「ブランコのる」とお
うむ返しのやりとりがほとん
ど。息子の気持ちを探る毎日で
したから。



1年半後、相手の気持ちも理解できるように

以前の息子は、褒められてもその意味が分かかっていませんでした。でもこちらに通うようになって1年半たった今は、相手があんな気持ちで自分に言葉をかけてくれているのか、言葉や表情から気づけるようになってきました。

今の息子は、褒められるとうれしそうにしますし、逆に叱られたときは怒られちゃったなと理解しています。うまく言葉

にできない自分の気持ちを爆発させて、癇癪を起こすといったことも減っていききました。自分の気持ちを伝えられるようになって

り、そして相手の気持ちも理解できるようになった——1年半前から積み上げてきた、大きな成長です。

これからも、焦らず、息子に寄り添って、一步一步進んでいきたいと思っています。ここは、私たち家族にそう思わせてくれた場所なんです。



指導員からのコメント

ここまで本当にさまざまなことができるようになったAくんですが、本人の頑張りだけでなく、教室で練習したことを学校やご自宅にもすぐに取り入れてくださり、いつでもAくんを応援してくれているご家族の存在がとても大きいと感じています。実はAくん、たくさんの強みを持っている子なんです。目で見たものを理解することが得意だったり、パターンで覚えるのが得意だったり。記憶力がすごくいいんです。数字も大好きなので、好きなことをたくさんやりながら得意を伸ばして、これからも楽しく過ごしていってほしいなと思います。



LITALICOジュニア
石神井公園西口教室

指導員より

親子の関係性を 根本から見直す 機会に

テーマ
親子

幼い頃から落ち着きがなく、イライラすると手が出してしまうことも多かったというYくん。ついには学童の先生に怪我を負わせてしまうまでに……。悪気はないYくんにどう言えば分かってもらえるのか、お母さまは途方にぐれしました。親子関係の再出発にいたるまでをお母さまに伺いました。

衝動的な行動、他害。学童で人を怪我させることも

小さい頃から道に棒が落ちていれば必ず振り回し、注意しても反発ばかり。高学年になるにつれ体格も大きくなり、息子を制止できない状態に。ついには学童の先生に怪我を負わせてしまいました。

個性という言葉で捉えるのも限界だと感じ病院にて受診。

そしてADHDとの診断を受けました。病院をはじめいろいろな機関で相談しましたが、教えていただいた対応では息子が反発することが目に見えていました。

ここ出会えたのは、どう対応するのが正解なのか分からず、途方に暮れていた頃です。

子どもの気持ちは変えない
気持ちの出し方を変える

決められた枠の中に無理矢理閉じ込めるのではなく、息子の個性に合わせた笑顔になれる指導をしてくださいました。例えば「手が出してしまう」という行動に対しては、「大きな声を出す」などの代替案を提示して息子に選ばせてくれました。慣れてきたら、周りに迷惑をかける選択肢に変えていきました。効果は抜群で、暴力をふるう回数は格段に減っていきました。

凄まじい成長を遂げていく息子を見て、これまで「問題行動をやめさせたい」という気持ちが行先するあまり、息子の気持ちに寄り添うことをせず、認めてあげられなかったことに気づきました。

今は、まず息子が不快に思ったことを受け入れて、「じゃあどうしようか」と向き合おうと思っています。関わり方を根本から見直し、親子関係を再出発させることができたのは、ここでの学びのおかげです。



指導員からのコメント

Yくんの努力が実り、今では自分の気持ちを言葉で説明したり、感情のコントロールもできるようになりました。手が出ることが減りました。お母さまもベアレントトレーニングで学んだことを行動に移してくださったからこそ、お子さまの成長につながったと感じています。

これから先、環境が変わることもたくさんあると思いますが、そんなとき、親子でしっかり相談できるのが家族の強みですね。ご家族の皆さまでコミュニケーションをとりながら、楽しく過ごしていただきたいと思います。



LITALICOジュニア
大井町教室
指導員より

「ま、いっか」の練習で 毎日が楽しく

「もう学校に通うことはできないかもしれない」そんな風に思い詰めていたのに、たった半年でお子さまに大きな変化が。不機嫌になる理由が分かったら、学校にも再び通えるようになって。



**苦手だった臨機応変
が身につきました!**

「この子はもう学校に行けないかもしれないので覚悟しておいてください」学校に行けなくなった娘を病院に連れて行った時、主治医から言われた言葉です。衝撃でした。

もともと予定の変更が受け入れられなかったり、気持ちの切り替えが苦手だったりしましたが、娘にとって学校がそんなにつらい場所だなんて、まったく気づ

いていなかったんです。

外出では出かけるたびに親子ゲンカ。その悩みをここで相談したら「ま、いっか」と切り替える練習を何度もしていただきました。私自身もペアレントトレーニングで「出かける前に選択肢を用意し、相談しておく」という対応を学びました。

自信がついてきたのが最近。小学校にも行けるようになり、運動会に出るのを目標に練習に通うようになっていきます。

「何をやってもダメだ」が 「やればできる」に

頑張っても勉強ができず苦しんでいたお子さま。担任の先生に WISC 検査をすすめられました。利用から1年2ヶ月経った今「勉強が楽しい！」とすっかり自信が付き、勉強にも楽しく取り組めるように。



1つの成功体験が 学習意欲の刺激に!

息子は短期記憶が苦手で知的能力に凸凹がある、いわゆるグレーゾーンにいたことが小学2年生の時に判明しました。そのため学校から特別支援学級への転籍をすすめられましたが、そのことで息子は自信を失ってしまい、「自分はなにをやってダメなんだ」が口癖に……。

特に苦手なのは国語の文章読解でした。読んでいる

間に問題の内容を忘れてしまふことに先生が気づいてくれました。

少しずつ読みながら問題を解くという方法で、たった半年で国語の成績が大幅にアップ。あんなに苦手だった国語の成績がグンと上がり「やればできる」と実感。この成功体験は他の教科の学習意欲にもつながりました。

あのとき一番必要だった自信を先生がつけてくださったんですよね。

ご家族とともにお子さまの成長をサポートし、「できた!」を着実に重ねていくために大切にしていること、必要なことは?専門性の高い教育プログラムを提供するために、LITALICO ジュニアの研修やプログラム開発に携わる緒方広海と花淵あゆみが対談。そこでみえたのは短期間でお子さまが成長する理由でした。

お子さまが理由とは?

ヒアリングと日々の試行錯誤が効果につながる

緒方 私たちが大切にしているのは個別最適な支援です。ですからご利用開始時には、まずご家族に対して丁寧にお子さまの状況をヒアリングをした上で個別目標を設定しています。その際、単に学習面で苦手なことを聞き取るだけで終わらせず、「何がどう影響しているから難しいのか?」「勉強ができる状態がお子さま自身にどんな意味をもたらすか」も、しっかりと掘り下げます。それが短期間で成長を感じられるような授業

につながるポイントだと考えます。

花淵 お子さまの成長の歴史や、今興味のあることなど、あらゆる情報がすべて支援のプランニングに活かされます。

担当の先生だけではなく、教室の先生みんなが一ひとりの様子を見守り、科学的理論をベースにしながら、そのお子さまのためのプログラムを作成するのも個別最適な支援が可能な理由だと思っています。

強ができる状態がお子さま自身にどんな意味をもたらすか」も、しっかりと掘り下げます。それが短期間で成長を感じられるような授業

複数名の先生が関わるからこそ、1回1回の授業もよりお子さまの状態に合わせ、多角的にアプローチで



緒方 広海

発達障害者支援センター、子ども家庭総合センターなどで乳幼児から成人期までの精神保健福祉、障害福祉の分野で幅広く心理臨床業務に携わる。その経験をもとに現在LITALICOの中で支援に関わる指導員への研修やスーパーバイザーの育成の統括などを担当。

一人ひとりの発達段階や 困りごとに合わせた支援

短期間で 成長する

緒方 行動分析学の研究や
知見に基づいた考え方を
ベースにしながら、お子さ
まの行動や状況の背景まで
踏まえたオリジナルの支援
内容を検討するからこそ、
お子さまが楽しみながらス

きています。
定期的な支援会議を開く
だけでなく、お子さまとの
関わりや先生同士のコミュニ
ケーションを通じて、日
常的に効果的な授業内容を
更新していきます。
そうした先生たちの試行
錯誤によってお子さまの成
長が実現できていると感じ
ています。

キルを身につけられるよう
な授業が組み立てられるん
ですよ。



花淵 あゆみ

個別指導塾や幼児教室、児童発達支援・放課後等デイサービスなどで、
授業や進路指導など、教室運営全般に携わる。
現在は、直接支援や、LITALICOジュニアのプログラム開発やサービス
品質の管理などに従事。

環境へのアプローチも大切に する支援方針

**ご家族の伴走者として、
お子さまの成長を見守る**

とで、お子さまにも良い影響
があると考えています。

花洲 お子さまと、お子さま
を取り巻く環境の両方にアプ
ローチするという支援方針が
あります。そのため、実はお
子さまと同じくらいご家族の
ご支援も大切にしていますよ
ね。

花洲 ご家族と伴走する形
で、うまくいった時にはその
喜びを分かち合い、うまくい
かない場合はどうしたらいい
のかを一緒に悩ませていただ
いています。

緒方 お子さま自身だけでは
なく、ご家族もさまざまな困
りごとや悩みを抱えていらっ
しゃる。

ご家族だけで悩みを抱えず
に、自分たち自身のことも大
切にさせていただくことが、お
子さまの成長につながってい
きます。

教室では、お子さまとの関
わり方や、そもそもお子さま
の特性をどのように理解すれ
ば良いかについてご家族にア
ドバイスさせていただいてい
ます。

これからも、ご家族のお気
持ちや状況に寄り添いなが
ら、お子さまの生きやすさに
つながるご支援を継続できる
環境をつくっていききたいで
す。

家族の関係性が変化するこ



見えづらい成長を可視化 することを大切に

緒方 発達がゆっくりとした
お子さまの場合、どうしても
成長が見えづらいところがあ
ります。

私たちは、見えづらいお子
さまの成長を可視化し、ご家
族と共有することを大切にし
ています。

「これだけ成長したんだ」
という実感をご家族が持てる
ことで、それはお子さまへの
接し方、ひいてはお子さまの
自信やさらなる成長につな
がっていくと考えています。

小さな成長の実感がさらなる成長へ



人はみんな、
それぞれに個性をもって生きている。
よく笑う人、さみしがりな人。
ゆっくり成長する人、話すことが得意な人。
もくもくと作業に取り組む人。

誰ひとりとして同じではなく、
さまざまな人間性をもって、かけがえのない人生を歩んでいる。
それなのに私たちの社会には、
「ちがいを」をじゅうぶんにいかしきる仕組みができていない。
それは、とてももったいないことだと思うのです。

生き方も、幸せも、決して一つではなく、人それぞれ。
だからこそ、べつべつの個性が出会い協力しあうことで、
想像できなかった未来だって、きっと生まれてくるはず。
そんな考えを世の中すべての人のあたりまえにしたい、
それがLITALICOの想いです。

人が育つとき、働くとき、何かをつくりだすとき、チャレンジするとき。
その「ひとり」をせいっぱい応援して、
可能性を最大限に広げていきたい。
「みんなの得意をいかし、できないことをおぎないあえる社会」をつくってほしいと、私たちは考えます。

あなたは、他の誰でもない。
そこから、すべての未来ははじまります。

株式会社LITALICO について

株式会社LITALICOは「障害のない社会をつくる」をビジョンに掲げ、働くことに障害のある方に向けた就労移行支援を開始後、児童発達支援やプログラミング教室の教育分野へ事業を展開。店舗運営の他、従来の分野に高齢者福祉を加え、当事者の方やそのご家族、企業などそれぞれに向けたポータルサイトやWebサービスを展開。2016年3月に東証マザーズに上場、2017年3月東証一部に市場変更。2022年4月に東京証券取引所プライム市場に移行。

人はちがう。

それでいい。

そこから始まる。

LITALICO
リタリコ



この冊子はLITALICO ジュニアのパーソナルコースの
協力のもと制作いたしました。



Episode [エピソード] vol.01 2023

エピソード 2023年10月創刊号

発行 株式会社ITALICO
〒153-0051 東京都目黒区上目黒2-1-1 中目黒Gトラタワー15F/16F/20F